

登録記号取扱規則（抜粋）（平成8年より運用）

○既に付与されている登録記号と同一のものは使用できない。
（日本で再度登録し使用する機体は、以前と同じ記号を使用）

○ローマ字については「I」、「O」、「S」、「CC」、「JA」を含むものは使用できない。

使用可能パターンは、数字を○、ローマ字を△とすると、JA○○○△もしくはJA○○△△の2パターンに限る。

○アラビア数字4ケタの場合は以下の区分に従う。

| 登録記号 | 区 分 |
|-------------|------------------|
| 0001 ~ 0999 | 第3種滑空機 |
| 1001 ~ 1999 | 特殊の飛行機 |
| 2001 ~ 2999 | 第1種、第2種及び動力滑空機 |
| 3001 ~ 4999 | レシプロ単発飛行機 |
| 5001 ~ 5999 | レシプロ多発飛行機 |
| 6001 ~ 6999 | タービン回転翼航空機 |
| 7001 ~ 7999 | レシプロ回転翼航空機 |
| 8001 ~ 8999 | ジェット及びターボプロップ飛行機 |
| 9001 ~ 9999 | タービン回転翼航空機 |